

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2029年1月26日まで（2019年1月28日設定）
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として外国株式に投資を行います。ただし、国内株式にも投資を行う場合があります。投資信託証券への投資にあたっては、投資対象とする投資信託証券の中から分散して投資を行います。投資対象とする投資信託証券については、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。また、原則として各投資信託証券の基本投資比率は毎月見直しを行います。ただし、市況動向等の状況によっては、基本投資比率と異なる運用を行う場合があります。投資信託証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、投資対象とする投資信託証券において為替ヘッジを行う場合があります。投資対象とする投資信託証券および基本投資比率は、東海東京アセットマネジメント株式会社の投資助言に基づき決定します。
主要運用対象	投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への直接投資は行いません。 投資信託証券への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告書（全体版）

外国株式アクティブファンド セレクション（ラップ専用）

第1期（決算日：2020年1月27日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「外国株式アクティブファンドセレクション（ラップ専用）」は、去る1月27日に第1期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資信託 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 配	達 み 金	期 騰 落	中 率				
(設定日)	円		円		%			%	百万円
2019年1月28日	10,000	—	—		704,146.04	—	—	—	10
1期(2020年1月27日)	12,337	0	23.4		869,232.52	23.4	75.8	—	20.4

- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) とは、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) (円換算ベース) は、MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) (米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。MSCI Kokusai Index (MSCIコクサイ インデックス) に対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc. に帰属します。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) MSCIコクサイインデックス (配当込み、 円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 券 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率			
(設定日) 2019年1月28日	円 10,000	% —	704,146.04	% —	% —	% —	% —
1月末	10,132	1.3	711,588.45	1.1	76.8	—	20.1
2月末	10,806	8.1	755,348.88	7.3	76.0	—	20.4
3月末	10,882	8.8	760,367.41	8.0	76.8	—	20.3
4月末	11,244	12.4	794,376.04	12.8	77.0	—	20.4
5月末	10,653	6.5	743,484.51	5.6	75.7	—	20.1
6月末	11,028	10.3	770,156.42	9.4	73.8	—	20.1
7月末	11,436	14.4	790,836.41	12.3	73.9	—	20.0
8月末	10,990	9.9	751,785.28	6.8	75.2	—	20.2
9月末	11,275	12.8	775,713.31	10.2	76.2	—	20.2
10月末	11,561	15.6	805,459.07	14.4	76.2	—	20.2
11月末	12,025	20.3	835,911.03	18.7	75.7	—	20.3
12月末	12,226	22.3	860,793.53	22.2	76.5	—	20.3
(期 末) 2020年1月27日	12,337	23.4	869,232.52	23.4	75.8	—	20.4

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 騰落率は設定日比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第1期：2019年1月28日～2020年1月27日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第1期首	10,000円
第1期末	12,337円
既払分配金	0円
騰落率	23.4%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は設定時に比べ23.4%の上昇となりました。

▶ 基準価額の変動要因

上昇要因

次世代米国代表株マザーファンドの上昇などがプラスに寄与しました。

第1期：2019年1月28日～2020年1月27日

投資環境について

▶ 外国株式市況

外国株式市況は、米中通商協議の進展期待や、欧米中央銀行のハト派姿勢などを背景に上昇しました。

▶ 為替市況

為替市場では、米ドルが円に対して下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

投資信託証券への投資を通じて、主として外国株式に投資を行いました。

投資対象とする投資信託証券およびその投資比率は、東海東京アセットマネジメント株式会社からの投資助言に基づき決定しました。

設定時から期末にかけて、基本投資比率は以下の通りとし、変更はありませんでした。

三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド：0%

次世代米国代表株マザーファンド：45%

米国配当成長株マザーファンド：35%

グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2

（適格機関投資家専用）：20%

（ご参考）

投資信託証券別組入比率表

投資信託証券	（%）	
	設定時	期末
次世代米国代表株マザーファンド	—	43.8
米国配当成長株マザーファンド	—	34.1
グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2（適格機関投資家専用）	—	19.9

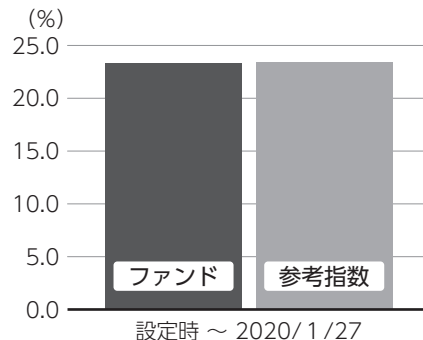
（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCIコクサイ インデックス（配当込み、円換算ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第1期
	2019年1月28日～2020年1月27日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	2,336

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

外国株式を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。

投資対象とする投資信託証券およびその基本投資比率は、東海東京アセットマネジメント株式会社の投資助言に基づき決定します。

2019年1月28日～2020年1月27日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	90	0.804	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(84)	(0.748)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(1)	(0.011)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(5)	(0.045)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	12	0.110	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
（株式）	(12)	(0.110)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	(0)	(0.002)	
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.018	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.015)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	104	0.934	

期中の平均基準価額は、11,231円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

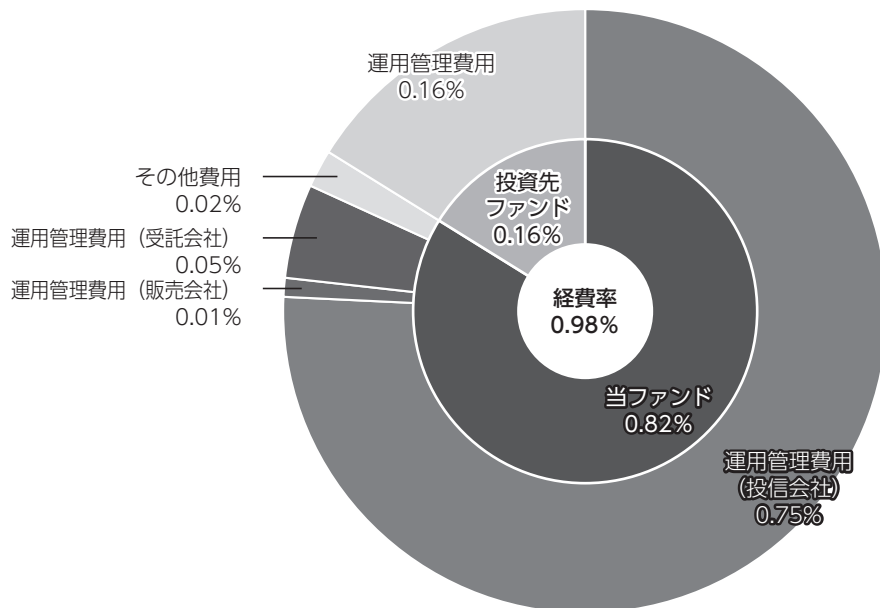
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**経費率（年率）は0.98%**です。



経費率 (①+②)	(%)	0.98
①当ファンドの費用の比率	(%)	0.82
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	0.16

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、前記には含まれておりません。

○売買及び取引の状況

(2019年1月28日～2020年1月27日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2 (適格機関投資家専用)	千口 75,165	千円 88,480	千口 10,596	千円 12,580

(注) 金額は受渡代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
	次世代米国代表株マザーファンド	85,015	182,680	6,280	14,170
	米国配当成長株マザーファンド	74,579	141,890	4,855	9,740

○株式売買比率

(2019年1月28日～2020年1月27日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	次世代米国代表株マザーファンド	米国配当成長株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	111,443,446千円	14,302,407千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	45,233,912千円	17,824,008千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.46	0.80

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年1月28日～2020年1月27日)

利害関係人との取引状況

<外国株式アクティブファンドセレクション（ラップ専用）>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	%
投資信託証券	百万円 88	百万円 88	100.0	百万円 12	百万円 12	100.0

<次世代米国代表株マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

平均保有割合 0.2%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

<米国配当成長株マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$

平均保有割合 0.3%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年1月28日～2020年1月27日)

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 —	百万円 —	百万円 10	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2020年1月27日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	当 期 末		
		口 数	評 価 額	比 率
		千口	千円	%
グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2（適格機関投資家専用）		64,568	84,591	19.9
合 計		64,568	84,591	19.9

(注) 比率は外国株式アクティブファンドセレクション（ラップ専用）の純資産総額に対する比率。

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
		千口	千円
次世代米国代表株マザーファンド		78,735	186,019
米国配当成長株マザーファンド		69,723	144,879

○投資信託財産の構成

(2020年1月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	84,591	19.9
次世代米国代表株マザーファンド	186,019	43.7
米国配当成長株マザーファンド	144,879	34.0
コール・ローン等、その他	10,578	2.4
投資信託財産総額	426,067	100.0

(注) 次世代米国代表株マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（42,877,998千円）の投資信託財産総額（45,060,061千円）に対する比率は95.2%です。

(注) 米国配当成長株マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（19,027,798千円）の投資信託財産総額（19,170,539千円）に対する比率は99.3%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=109.06円	1 カナダドル=82.94円	1 ユーロ=120.30円	1 イギリスポンド=142.51円
1 スイスフラン=112.39円	1 スウェーデンクローネ=11.40円	1 ノルウェークローネ=12.05円	1 デンマーククローネ=16.10円
1 オーストラリアドル=74.30円	1 香港ドル=14.03円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年1月27日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	426,067,115
コール・ローン等	10,576,562
投資信託受益証券(評価額)	84,591,812
次世代米国代表株マザーファンド(評価額)	186,019,599
米国配当成長株マザーファンド(評価額)	144,879,142
(B) 負債	1,185,371
未払信託報酬	1,181,106
未払利息	4
その他未払費用	4,261
(C) 純資産総額(A－B)	424,881,744
元本	344,397,944
次期繰越損益金	80,483,800
(D) 受益権総口数	344,397,944口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,337円

<注記事項>

- ①設定元本額 10,000,000円
 期中追加設定元本額 365,171,149円
 期中一部解約元本額 30,773,205円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.2337円です。

○損益の状況（2019年1月28日～2020年1月27日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,459
受取利息	22
支払利息	△ 1,481
(B) 有価証券売買損益	36,776,343
売買益	38,989,519
売買損	△ 2,213,176
(C) 信託報酬等	△ 1,334,258
(D) 当期損益金(A+B+C)	35,440,626
(E) 追加信託差損益金	45,043,174
(配当等相当額)	(△ 2,372)
(売買損益相当額)	(45,045,546)
(F) 計(D+E)	80,483,800
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	80,483,800
追加信託差損益金	45,043,174
(配当等相当額)	(456,607)
(売買損益相当額)	(44,586,567)
分配準備積立金	35,440,626

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2019年1月28日～ 2020年1月27日
費用控除後の配当等収益額	2,613,664円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	32,826,962円
収益調整金額	45,043,174円
分配準備積立金額	－円
当ファンドの分配対象収益額	80,483,800円
1万口当たり収益分配対象額	2,336円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

- ③「米国配当成長株マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の40以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

次世代米国代表株マザーファンド

《第13期》決算日2019年9月9日

[計算期間：2019年3月8日～2019年9月9日]

「次世代米国代表株マザーファンド」は、9月9日に第13期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第13期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。株式への投資にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、30銘柄程度に投資を行います。株式の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	米国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		(参 考 指 数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
9期(2017年9月7日)	17,480	3.6	15,117	△ 0.3	98.7	—	38,251
10期(2018年3月7日)	19,591	12.1	16,686	10.4	98.8	—	41,283
11期(2018年9月7日)	21,753	11.0	18,238	9.3	98.1	—	44,708
12期(2019年3月7日)	20,862	△ 4.1	18,201	△ 0.2	98.4	—	48,004
13期(2019年9月9日)	21,380	2.5	18,195	△ 0.0	95.5	—	45,961

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY(ニューヨーク)ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		(参 考 指 数) ダウ・ジョーンズ工業株価平均 (円換算ベース)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2019年 3 月 7 日	円	%		%	%	%
	20,862	—	18,201	—	98.4	—
3 月 末	20,903	0.2	18,121	△0.4	97.9	—
4 月 末	21,798	4.5	18,791	3.2	98.4	—
5 月 末	20,346	△2.5	17,475	△4.0	96.2	—
6 月 末	21,059	0.9	18,153	△0.3	92.0	—
7 月 末	21,858	4.8	18,759	3.1	92.9	—
8 月 末	21,062	1.0	17,818	△2.1	94.4	—
(期 末) 2019年 9 月 9 日	21,380	2.5	18,195	△0.0	95.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

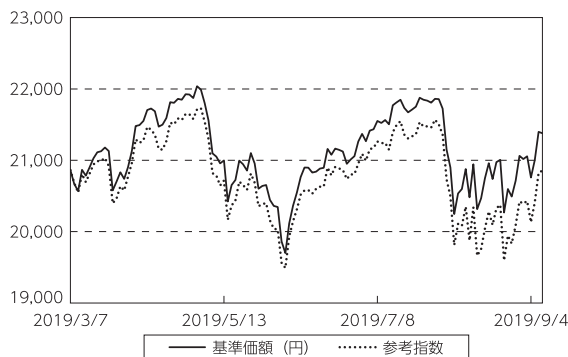
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.5%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米国株式市況全体の上昇や組入銘柄 (VISA INC-CLASS A SHARESなど) の値上がりが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

為替市況が円高・米ドル安となったことが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎米国株式市況

- ・米国株式市況は上昇しました。
- ・米中の貿易問題の不透明感が継続していたことや、世界景気の減速傾向などが懸念材料となる一方で、米国企業の1-3月期の決算発表において、市場予想を上回る決算を発表する企業が多くみられたことが好感されました。米連邦準備制度理事会 (FRB) のパウエル議長による議会証言などで、米金融政策の緩和姿勢が明確となったことなどを好感し、2019年5月に一時的な調整はあったものの、7月末に至るまで市況は上昇基調にて推移しました。8月入り後は、米中貿易摩擦激化などが悪材料となり、調整色

を強めました。期首に比べ上昇にて当期を終えています。

◎為替市況

- ・期首に比べ、対米ドルで4.2%の円高・米ドル安となりました。リスク回避傾向の高まり等から円は米ドルに対して上昇となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。
- ・主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療機器などの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目し、同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
- ・基本的には、景気が堅調に推移する環境下において、業績拡大余地の大きい銘柄に着目しましたが、景気動向や市況動向の変化に対応する必要性から、随時ポートフォリオの調整を行いました。
- ・株価水準面での割安感にも留意し、銘柄選定を行いました。
- ・当期は変化が大きかった市況動向に対応し、適宜銘柄の見直しを行った結果、9銘柄の入れ替えを行いました。
- ・また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適宜行いました。

- ・業績が振るわなかった「NETAPP INC」、 「ALIGN TECHNOLOGY INC」などの売却を行う一方で、ライフサイエンス業界向けにソフトウェアを提供する「VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A」、参入障壁が高い会計ソフトウェア分野などで収益を拡大する「INTUIT INC」、さらには半導体・電子回路設計（EDA）ツールの開発を行う「CADENCE DESIGN SYS INC」などを組み入れました。

○今後の運用方針

- ・大きな変化が起きている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。現在は、インターネットやバイオ、医療機器などの分野の重要性の高まり、同分野での新しい企業の台頭に注目しています。同時に、絶え間ない自己革新により、環境変化に対応し続けている伝統的な老舗企業にも目を向け、より高い投資成果の達成をめざします。
- ・過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると考えられます。
- ・米中貿易摩擦を巡っては依然として不透明感が払拭されず、世界経済の先行きへの不安は足元むしろ高まっている感がありますが、米国の景気と企業業績については顕著な落ち込みはみられず、堅調な個人消費に支えられ、巡航速度の成長を遂げていると考えられます。また主要国の中央銀行が総じて金融緩和的な姿勢を強めていることも市況の下支え要因になるとみています。
- ・株価水準面でも極端な割高感はないことを考えあわせると、米中問題は市況の重石となるものの、下値自体は堅いと考えられます。

○1万口当たりの費用明細

(2019年3月8日～2019年9月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 28 (28)	% 0.133 (0.133)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.005 (0.005) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	29	0.139	
期中の平均基準価額は、21,111円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年3月8日～2019年9月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 23,313	千アメリカドル 222,388	百株 22,797	千アメリカドル 261,497

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2019年3月8日～2019年9月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	53,009,414千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	45,057,703千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.17

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年3月8日～2019年9月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
為替直物取引	百万円 790	百万円 —	% —	百万円 4,087	百万円 424	% 10.4

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2019年9月9日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
AMERICAN EXPRESS CO	—	1,502	18,052	1,930,718	各種金融
BOEING CO/THE	990	954	34,640	3,704,825	資本財
VERIZON COMMUNICATIONS INC	2,281	2,499	14,763	1,578,920	電気通信サービス
JPMORGAN CHASE & CO	1,604	—	—	—	銀行
CATERPILLAR INC	1,843	1,633	20,036	2,142,947	資本財
COCA-COLA CO/THE	1,836	1,187	6,555	701,142	食品・飲料・タバコ
CHEVRON CORP	1,340	1,342	15,870	1,697,349	エネルギー
CME GROUP INC	710	—	—	—	各種金融
WALT DISNEY CO/THE	600	—	—	—	メディア・娯楽
DR HORTON INC	—	2,344	11,750	1,256,712	耐久消費財・アパレル
GOLDMAN SACHS GROUP INC	1,111	1,096	22,710	2,428,857	各種金融
HOME DEPOT INC	858	—	—	—	小売
MCDONALD'S CORP	1,311	1,293	28,449	3,042,714	消費者サービス
MERCK & CO. INC.	—	1,057	9,150	978,640	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
3M CO	1,093	1,090	17,884	1,912,734	資本財
BANK OF AMERICA CORP	—	4,086	11,330	1,211,794	銀行
PROGRESSIVE CORP	1,210	—	—	—	保険
UNITEDHEALTH GROUP INC	1,422	1,042	23,868	2,552,754	ヘルスケア機器・サービス
VULCAN MATERIALS CO	586	319	4,625	494,731	素材
WALMART INC	900	1,055	12,104	1,294,524	食品・生活必需品小売り
CADENCE DESIGN SYS INC	—	449	3,143	336,143	ソフトウェア・サービス
INTEL CORP	1,680	—	—	—	半導体・半導体製造装置
COSTCO WHOLESALE CORP	360	190	5,781	618,360	食品・生活必需品小売り
MICROSOFT CORP	1,593	1,497	20,833	2,228,104	ソフトウェア・サービス
ASML HOLDING NV-NY REG SHS	301	188	4,487	479,892	半導体・半導体製造装置
ALIGN TECHNOLOGY INC	247	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス
GILEAD SCIENCES INC	923	—	—	—	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	164	146	7,376	788,948	ヘルスケア機器・サービス
INTUIT INC	—	136	3,914	418,610	ソフトウェア・サービス
AMAZON.COM INC	63	84	15,445	1,651,894	小売
NETAPP INC	1,243	—	—	—	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
APPLE INC	1,133	1,018	21,716	2,322,577	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COSTAR GROUP INC	218	138	8,500	909,175	商業・専門サービス
MSCI INC	—	403	9,723	1,039,894	各種金融
VISA INC-CLASS A SHARES	1,113	1,439	26,727	2,858,558	ソフトウェア・サービス
FACEBOOK INC-CLASS A	—	334	6,274	671,102	メディア・娯楽
DIAMONDBACK ENERGY INC	584	461	4,410	471,734	エネルギー
LAMB WESTON HOLDINGS INC	1,409	1,792	12,762	1,364,962	食品・飲料・タバコ

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(アメリカ) VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	百株 —	百株 467	千アメリカドル 7,359	千円 787,124	ヘルスケア機器・サービス
合 計	株 数 ・ 金 額 30,730	31,246	410,252	43,876,453	
	銘柄 数 < 比 率 >	30	30	—	< 95.5% >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2019年9月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 43,876,453	% 94.3
コール・ローン等、その他	2,650,200	5.7
投資信託財産総額	46,526,653	100.0

(注) 期末における外貨建純資産（45,808,692千円）の投資信託財産総額（46,526,653千円）に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=106.95円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年9月9日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	46,951,205,220	
コール・ローン等	2,576,376,641	
株式(評価額)	43,876,453,875	
未収入金	424,869,400	
未収配当金	73,505,304	
(B) 負債	989,553,237	
未払金	424,551,800	
未払解約金	565,000,000	
未払利息	1,437	
(C) 純資産総額(A-B)	45,961,651,983	
元本	21,497,721,553	
次期繰越損益金	24,463,930,430	
(D) 受益権総口数	21,497,721,553口	
1万口当たり基準価額(C/D)	21,380円	

<注記事項>

- ①期首元本額 23,010,106,028円
 期中追加設定元本額 792,255,260円
 期中一部解約元本額 2,304,639,735円
 また、1口当たり純資産額は、期末2.1380円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

次世代米国代表株ファンド	19,285,427,944円
次世代米国代表株ファンド(FOFs用)(適格機関投資家限定)	1,255,509,340円
次世代米国代表株ファンド(為替ヘッジあり)	901,590,574円
外国株式アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	55,193,695円
合計	21,497,721,553円

○損益の状況 (2019年3月8日~2019年9月9日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	403,758,387	
受取配当金	394,878,104	
受取利息	9,043,445	
支払利息	△ 163,162	
(B) 有価証券売買損益	877,172,941	
売買益	4,976,753,802	
売買損	△ 4,099,580,861	
(C) 保管費用等	△ 2,523,026	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,278,408,302	
(E) 前期繰越損益金	24,994,637,653	
(F) 追加信託差損益金	856,944,740	
(G) 解約差損益金	△ 2,666,060,265	
(H) 計(D+E+F+G)	24,463,930,430	
次期繰越損益金(H)	24,463,930,430	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

米国配当成長株マザーファンド

《第12期》決算日2019年11月25日

[計算期間：2019年5月25日～2019年11月25日]

「米国配当成長株マザーファンド」は、11月25日に第12期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第12期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	米国の株式を主要投資対象とし、S & P 5 0 0 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果をめざして運用を行います。 株式の組入比率は原則として高位を保ちます。 対象インデックスとの連動を維持するため、先物取引等を利用し株式の実質投資比率が100%を超える場合があります。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 株式等の運用にあたっては、UBSアセット・マネジメント（UK）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主 要 運 用 対 象	米国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		S & P 5 0 0 配当貴族指数		株 式 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 書 組 入 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率				
	円	%	(配当込み、円換算ベース)	%	%	%	%	百万円
8期(2017年11月24日)	16,353	7.9	16,129.08	7.8	97.4	—	2.1	15,925
9期(2018年5月24日)	16,695	2.1	16,439.20	1.9	97.4	—	2.0	17,144
10期(2018年11月26日)	17,685	5.9	17,377.28	5.7	97.4	—	1.9	16,444
11期(2019年5月24日)	18,133	2.5	17,776.80	2.3	97.7	—	1.8	17,514
12期(2019年11月25日)	20,180	11.3	19,743.11	11.1	97.8	—	1.6	19,150

(注) S & P 5 0 0 配当貴族指数とは、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCが算出・公表しているS & P 5 0 0 構成銘柄の中から25年間連続増配している企業を抽出し、算出している株価指数です。なお、S & P 5 0 0 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース）は、S & P 5 0 0 配当貴族指数（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。S & P 5 0 0 配当貴族指数はS&P Dow Jones Indices LLC（「SPDJI」）の商品であり、これを利用するライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's®およびS&P®はStandard & Poor's Financial Services LLC（「S&P」）の登録商標で、Dow Jones®はDow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標であり、これらの商標を利用するライセンスがSPDJIに、特定目的での利用を許諾するサブライセンスが三菱UFJ国際投信株式会社にそれぞれ付与されています。当ファンドは、SPDJI、Dow Jones、S&Pまたはそれぞれの関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これら関係者のいずれも、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 5 0 0 配当貴族指数の誤り、欠落、または中断に対して一切の責任も負いません。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		S & P 5 0 0	配当貴族指数	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(配当込、円換算ベース)	騰 落 率			
(期 首) 2019年5月24日	円	%		%	%	%	%
	18,133	—	17,776.80	—	97.7	—	1.8
5月末	17,874	△ 1.4	17,520.99	△ 1.4	97.6	—	1.8
6月末	18,500	2.0	18,131.63	2.0	97.7	—	1.7
7月末	19,195	5.9	18,808.68	5.8	97.6	—	1.7
8月末	18,429	1.6	18,046.23	1.5	97.6	—	1.8
9月末	19,261	6.2	18,857.28	6.1	97.6	—	1.8
10月末	19,889	9.7	19,466.42	9.5	97.7	—	1.8
(期 末) 2019年11月25日	20,180	11.3	19,743.11	11.1	97.8	—	1.6

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

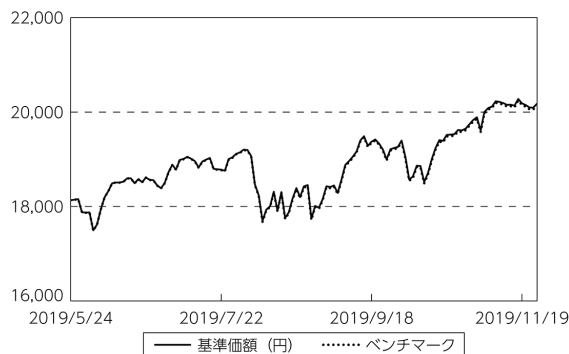
◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ11.3%の上昇となりました。

◎ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率(11.1%)を0.2%上回りました。

基準価額等の推移



(注) ベンチマークは期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

米連邦準備制度理事会(FRB)による早期利下げ観測が高まったことに加え、米中通商協議の進展に対する期待や、好調な企業決算などを背景に米国株式市況が上昇したことや、個別銘柄(TARGET CORP、LEGGETT & PLATT INCなど)が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米ドルが対円で下落したことが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎米国株式市況

・米国株式市況は上昇しました。FRBによる早期利下げ観測が高まったことに加え、米中通商協議の進展に対する期待や、好調な企業決算などを背景に上昇しました。

◎為替市況

・為替市況は、期首と比べて円高・米ドル安となりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・ S & P 5 0 0 配当貴族指数に採用されている株式（不動産投資信託証券（REIT）を含む）を主要投資対象とし、ベンチマーク（S & P 5 0 0 配当貴族指数（配当込み、円換算ベース））に連動する投資成果をめざして、運用を行いました。

●当該投資信託のベンチマークとの差異について

◎組入比率要因

- ・ 期中、ファンドの資産をほぼ全額 S & P 5 0 0 配当貴族指数構成銘柄へ投資しました。
- ・ 効率的に運用を行うため、円貨、外貨現金などを若干保有しました。

◎銘柄選択要因

- ・ ファンドとベンチマークの値動きや、推定トラッキングエラーなどについてモニターし、独自開発システムを活用してベンチマークとの連動性を高めるよう努めました。

◎その他の要因

- ・ 売買コスト、保管料等がファンドのパフォーマンスにマイナスに影響しました。

○今後の運用方針

- ・ S & P 5 0 0 配当貴族指数構成銘柄について指数構成比率に応じて投資を行い、同指数の値動きに連動する投資成果をめざす方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2019年5月25日～2019年11月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	円 0 (0) (0)	% 0.001 (0.001) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.000 (0.000) (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.014 (0.014) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	3	0.015	
期中の平均基準価額は、18,906円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2019年5月25日～2019年11月25日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 3,235 (-)	千アメリカドル 24,438 (△ 31)	百株 3,025	千アメリカドル 26,474

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	FEDERAL REALTY INVS TRUST	1	250	2	309

(注) 金額は受渡代金。

○株式売買比率

(2019年5月25日～2019年11月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	5,497,476千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	18,167,085千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.30

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年5月25日～2019年11月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,564	百万円 1,454	% 93.0	百万円 2,007	百万円 1,033	% 51.5

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行です。

○組入資産の明細

(2019年11月25日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円	
ABBOTT LABORATORIES	377	367	3,074	334,546	ヘルスケア機器・サービス
AUTOMATIC DATA PROCESSING	173	183	3,118	339,361	ソフトウェア・サービス
AFLAC INC	589	569	3,073	334,379	保険
AIR PRODUCTS & CHEMICALS INC	145	141	3,357	365,306	素材
BECTON DICKINSON AND CO	125	121	3,037	330,555	ヘルスケア機器・サービス
CHUBB LTD	207	197	2,988	325,156	保険
CATERPILLAR INC	201	223	3,209	349,213	資本財
COCA-COLA CO/THE	598	547	2,901	315,727	食品・飲料・タバコ
CHEVRON CORP	235	254	3,014	327,982	エネルギー
CARDINAL HEALTH INC	622	601	3,350	364,516	ヘルスケア機器・サービス
COLGATE-PALMOLIVE CO	415	437	2,916	317,300	家庭用品・パーソナル用品
TARGET CORP	349	271	3,442	374,550	小売
DOVER CORP	294	289	3,173	345,355	資本財
EXXON MOBIL CORP	345	432	2,999	326,336	エネルギー
EMERSON ELECTRIC CO	394	427	3,149	342,735	資本財
ECOLAB INC	155	156	2,858	311,070	素材
FRANKLIN RESOURCES INC	809	1,062	2,901	315,747	各種金融
GENERAL DYNAMICS CORP	157	171	3,128	340,375	資本財
WW GRAINGER INC	97	94	3,025	329,228	資本財
GENUINE PARTS CO	272	287	2,979	324,197	小売
ILLINOIS TOOL WORKS	181	186	3,236	352,149	資本財
JOHNSON & JOHNSON	205	234	3,234	351,998	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
KIMBERLY-CLARK CORP	228	221	2,951	321,128	家庭用品・パーソナル用品
LOWE'S COS INC	252	269	3,185	346,574	小売
LEGGETT & PLATT INC	667	675	3,533	384,472	耐久消費財・アパレル
MCDONALD'S CORP	147	152	2,943	320,319	消費者サービス
S&P GLOBAL INC	131	120	3,191	347,271	各種金融
MEDTRONIC PLC	339	283	3,144	342,130	ヘルスケア機器・サービス
3M CO	130	184	3,091	336,409	資本財
MCCORMICK & CO-NON VTG SHRS	189	186	3,118	339,365	食品・飲料・タバコ
NUCOR CORP	489	567	3,133	340,906	素材
PEPSICO INC	225	216	2,905	316,154	食品・飲料・タバコ
PROCTER & GAMBLE CO/THE	280	239	2,879	313,331	家庭用品・パーソナル用品
PPG INDUSTRIES INC	245	241	3,031	329,861	素材
PENTAIR PLC	753	718	3,142	341,904	資本財
ROPER TECHNOLOGIES INC	82	89	3,200	348,266	資本財
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	62	52	2,994	325,808	素材
STANLEY BLACK & DECKER INC	194	204	3,208	349,135	資本財
AT&T INC	894	811	3,063	333,301	電気通信サービス
SYSCO CORP	407	378	2,992	325,570	食品・生活必需品小売り
UNITED TECHNOLOGIES CORP	206	208	3,074	334,538	資本財
VF CORP	308	329	2,846	309,711	耐久消費財・アパレル
WALGREENS BOOTS ALLIANCE INC	539	548	3,325	361,879	食品・生活必需品小売り
WALMART INC	278	250	2,994	325,831	食品・生活必需品小売り
CLOROX COMPANY	187	198	2,899	315,474	家庭用品・パーソナル用品
CONSOLIDATED EDISON INC	341	317	2,736	297,808	公益事業

銘柄	株数	当 期 末				業 種 等
		株 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
CINTAS CORP	134	109	2,789	303,542	商業・専門サービス	
T ROWE PRICE GROUP INC	267	263	3,189	347,100	各種金融	
ARCHER-DANIELS-MIDLAND CO	671	737	3,149	342,700	食品・飲料・タバコ	
CINCINNATI FINANCIAL CORP	330	259	2,742	298,436	保険	
BROWN-FORMAN CORP-CLASS B	542	457	3,066	333,685	食品・飲料・タバコ	
PEOPLE'S UNITED FINANCIAL	1,682	1,780	2,902	315,821	銀行	
HORMEL FOODS CORP	731	731	3,095	336,805	食品・飲料・タバコ	
ABBVIE INC	364	389	3,347	364,271	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
SMITH (A. O.) CORP	513	587	2,830	307,954	資本財	
LINDE PLC	160	154	3,170	345,034	素材	
KONTOOR BRANDS INC	44	—	—	—	耐久消費財・アパレル	
合 計	株 数 ・ 金 額	19,983	20,193	172,045	18,720,302	
	銘柄数 < 比率 >	57	56	—	< 97.8% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

外国投資信託証券

銘柄	口数	当 期 末				比 率
		口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカドル	千円	%	
FEDERAL REALTY INVS TRUST	21	21	2,794	304,068	1.6	
合 計	口 数 ・ 金 額	21	21	2,794	304,068	
	銘柄数 < 比率 >	1	1	—	< 1.6% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率および合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2019年11月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 18,720,302	% 93.3
投資証券	304,068	1.5
コール・ローン等、その他	1,034,805	5.2
投資信託財産総額	20,059,175	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (19,949,369千円) の投資信託財産総額 (20,059,175千円) に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.81円		
------------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年11月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	20,937,191,915
コール・ローン等	116,610,071
株式(評価額)	18,720,302,770
投資証券(評価額)	304,068,413
未収入金	1,765,682,663
未収配当金	30,527,998
(B) 負債	1,787,084,908
未払金	902,084,828
未払解約金	885,000,000
未払利息	80
(C) 純資産総額(A-B)	19,150,107,007
元本	9,489,782,439
次期繰越損益金	9,660,324,568
(D) 受益権総口数	9,489,782,439口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,180円

<注記事項>

- ①期首元本額 9,658,895,667円
 期中追加設定元本額 1,056,659,116円
 期中一部解約元本額 1,225,772,344円
 また、1口当たり純資産額は、期末2.0180円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ 米国配当成長株ファンド<為替ヘッジなし>	7,641,031,699円
三菱UFJ 米国配当成長株ファンド<為替アクティブヘッジ>	1,795,487,488円
外国株式アクティブファンドセレクション(ラップ専用)	53,263,252円
合計	9,489,782,439円

○損益の状況 (2019年5月25日～2019年11月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	212,130,091
受取配当金	212,041,710
受取利息	113,788
支払利息	△ 25,407
(B) 有価証券売買損益	1,851,788,147
売買益	2,122,519,267
売買損	△ 270,731,120
(C) 保管費用等	△ 2,673,317
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,061,244,921
(E) 前期繰越損益金	7,855,636,419
(F) 追加信託差損益金	902,830,884
(G) 解約差損益金	△1,159,387,656
(H) 計(D+E+F+G)	9,660,324,568
次期繰越損益金(H)	9,660,324,568

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2 (適格機関投資家専用)

「グローバル・フランチャイズ・ファンド M-2 (適格機関投資家専用)」は、現時点で入手し得る直近の決算データが存在しないため、開示すべき情報はありません。